

札幌市イノベーション推進コンソーシアム 令和7年度事業報告

事務局

札幌市、(一財)さっぽろ産業振興財団

実施事業

- ① AI推進部会 (Sapporo AI Lab)**
- ② DX推進部会**
- ③ 先端技術普及促進部会**
- ④ 市内IT企業PR・販路拡大支援・その他広報**

(1)プロジェクトメイク

「Sapporo AI Lab」のコーディネーション機能として、AIに関する企業側のニーズや相談などを受け、AI関連技術を有する市内IT企業の把握やAI関連の研究開発を行っている大学側のシーズを把握・分析し、企業と企業、企業と大学のマッチング機会を創出した。

No.	実施概要
1	NoMaps実行委員会への協力（イベント連携） 「NoMaps TECH」の開催に向け、AI・ITコミュニティ（CDLE北海道など）のキープレイヤーを登壇者として紹介し、イベント制作と関係構築を支援した。
2	カナダ・ケベック州企業と市内IT企業のマッチング 大阪・関西万博のカナダパビリオンで開催される商談イベントに向け、協業を検討する市内IT企業3社とカナダ・ケベック州のIT・クリエイティブ企業等との引き合わせを行った。
3	韓国企業（SMARTCUBE社）の札幌進出支援 日本への進出を検討していた韓国企業を、札幌海外企業受入ワンストップ窓口（STEP）へ紹介し、結果として札幌市内への日本進出拠点の開設を実現した。
4	韓日産業技術協力財団主催セミナーの運営協力 札幌商工会議所や業界団体と連携し、札幌のIT企業12社と韓国のIT企業12社が参加する「日韓SAPPORO IT企業交流会」および「交流フォーラム」の開催を支援した。

(1)プロジェクトメイク

「Sapporo AI Lab」のコーディネーション機能として、AIに関する企業側のニーズや相談などを受け、AI関連技術を有する市内IT企業の把握やAI関連の研究開発を行っている大学側のシーズを把握・分析し、企業と企業、企業と大学のマッチング機会を創出した。

No.	実施概要
5	株式会社テクノフェイスへのマーケティング支援 販促物のデザインやマーケティング戦略に課題を抱える同社に対し、デザイン制作だけでなくビジネス展開のコンサルティングも可能な株式会社札幌社を紹介・マッチングした。
6	北海道経済連合会記念式典への登壇者推薦 道経連の設立50周年記念式典における基調講演者を探しているという相談を受け、札幌AIラボ長である北海道大学の川村秀憲教授を推薦し、登壇が実現した。
7	狸小路商店街の防犯カメラAI化に向けた支援 商店街の老朽化した防犯カメラのリプレイス（AIカメラ化）の相談を受け、エッジAIカメラソリューションを提供するAWL株式会社を引き合わせ、導入に向けた協議や見積・実証の検討を支援した。

(2) 情報発信・普及啓発

メールマガジンやSNSを通じて、AIに関する最新技術やビジネスへの活用事例等に関する情報発信を行うとともに、札幌AIラボの専用WEBサイトを通じて実施事業の報告や、市内IT企業の紹介を行った。



おすすめ記事

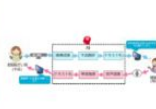
HOT TOPICS



【受付は終了しました】全国初開催！JDLA&自治体共催イベント「Sapporo AI Connect 2024～JDLA×札幌AI道場～」を開催します



札幌AI人材育成プログラム「E資格チャレンジ」の開始について



「AI×手話プロジェクト」の情報をアップデート「新たな実証実験」いたしました



「札幌AI道場・第二期」開設式（キックオフイベント）」



(3) 人材育成(E資格チャレンジ)

- 日本ディープラーニング協会(JDLA)が主催するエンジニア資格・E資格の合格に向けて、JDLA認定プログラムの受講から資格試験受験までがパッケージになった特別プログラムを実施
- ディープラーニングの理論の理解と開発実践能力の習得、スキルの可視化を支援

対象者

以下の1～4の全てに該当する個人(主にエンジニア)

1. 市在住又は市内企業や団体に勤務する者
2. E資格の合格に向けて十分な学習時間を確保できる者
3. プログラム修了に向けて誠実に取り組める者
4. プログラム修了後、引き続き上記1の要件を満たす意思がある者

受講者数・E資格合格者数

【受講者】30名 【プログラム修了】27名 【合格者】11名

合格者のフォローアップ

札幌AIラボWEBサイトにおけるインタビュー記事掲載



年齢やキャリアに縛られなくていい！

株式会社達人出版会

山根 ゆりえ さん (ITエンジニア)



これから先、AIは必須の知識になる

札幌医科大学

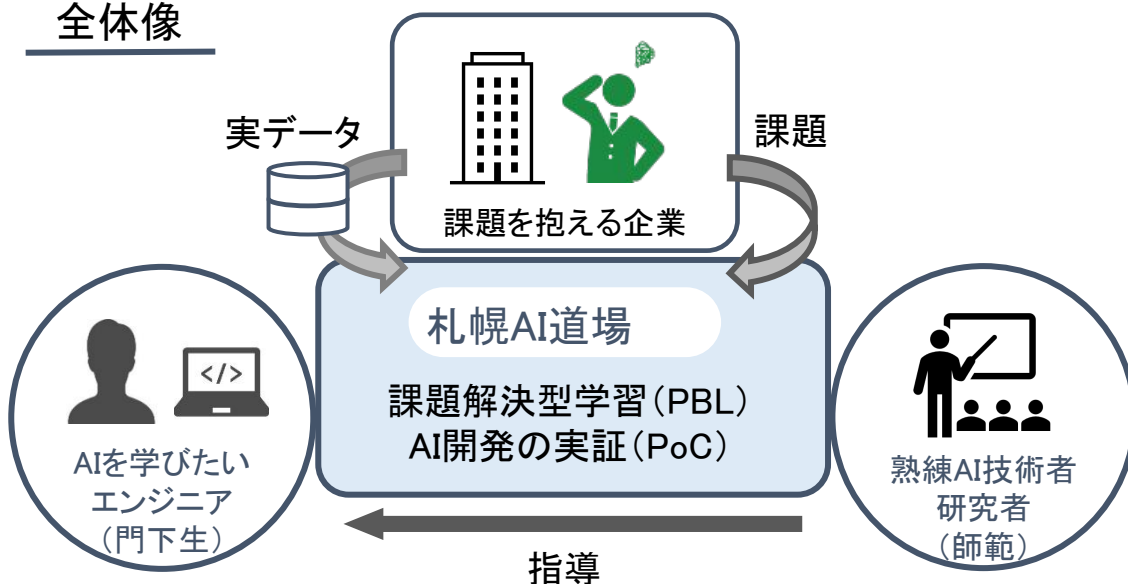
真里谷 環さん (産婦人科専門医/臨床遺伝専門医)



（4）札幌AI道場

企業が抱える実課題を題材として、課題解決型学習による実践的AI人材育成（PBL）とAI開発の実証（PoC）を同時に行うプロジェクトを実施した。

全体像



参加者



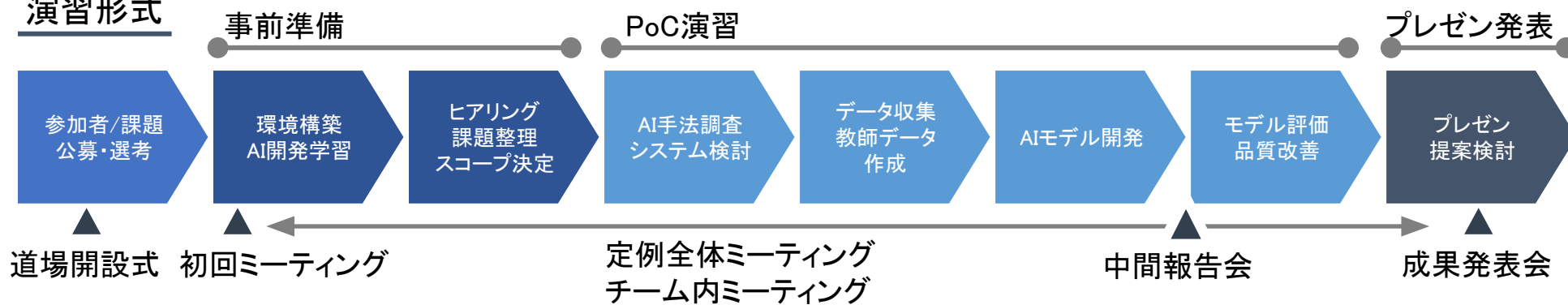
「プログラミング能力」「AI知識」「プロジェクト遂行力」の3項目を踏まえて選考を行った結果、計41名が参加。

課題提供企業



「実現性」「データの有無・品質」「成長への貢献度」の3項目を踏まえて選考を行い、5社を決定。

演習形式



演習概要

現在、手作業で行っている郵便物の数量確認に「画像解析AI」を活用することで、迅速かつ正確に通数を確認し、作業の負担軽減と効率化を図る実証実験に取り組む。

単体の封筒画像からは約9割の精度で領域抽出するAIシステムの実証に取り組んだ。50枚の束やコンテナ画像では正解率や再現率に課題を残し実運用には精度向上の余地があるものの、画像分析による計数自動化の可能性は示された。今回の検証結果を活かした今後のモデル改善と、通数確認業務の自動化実現が期待される。

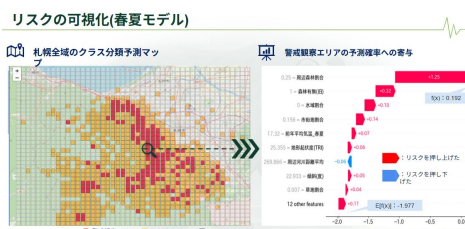


AIを活用したヒグマ情報の提供

昨年、札幌市でも被害が大きかったヒグマの出没危険推定をAIによってエリアごとに行うことを目指す。

AIで過去の出没傾向や地形や天候情報などの状況を統合的に判断し、モデルを開発することで主要因となる要素や予測状況を可視化することでヒグマ問題を考察する。

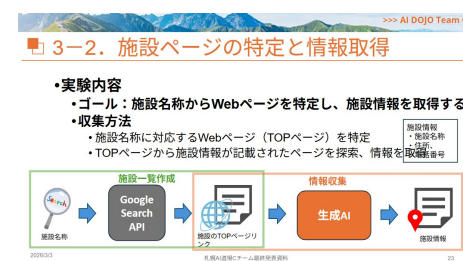
地形や植生、気象などの環境データと人為的要因を組み合わせ、1kmメッシュ単位でヒグマとの遭遇リスクを予測するAIシステムの実証に取り組んだ。約70%の正解率でリスクを予測できるだけでなく、『なぜ危険か』という根拠も定量的に提示でき、具体的な防除対策のシミュレーションも可能とした。



地図情報更新を目的とした公開情報の 変化検知支援

各自治体および官公庁が公開しているウェブサイトを対象に、施設の新設・廃止・名称変更など地図更新に関係する可能性のある変化を検知し、更新確認作業を支援する仕組みの構築に取り組む。

生成AIを活用し、施設名から対象のWebページを特定して住所や電話番号を自動取得し、前年度データと表記ゆれを考慮して比較・突合するAIシステムの実証に取り組んだ。手作業で数時間かかっていた情報収集・差分抽出業務の時間を大幅に短縮でき、本格導入によって地図更新業務の効率化が期待できる。



（4）札幌AI道場（エンジニアコース演習概要）

	株式会社開発工営社 自然環境調査を目的とした鳥の鳴き声検出	長谷製菓株式会社 菓子製造における検品の効率化																																																												
演習概要	現地での目視や聞き取りによる種判別を、録音データをAIで自動解析して種別を特定する方法に置き換え、調査時の影響回避と効率化を図る。	目視による検品においてスピードと判定精度が求められ、特に焼き色については個人差が大きく判定が難しい。焼き色を中心にAIで不良を検知するモデルを作成し、製造ライン上での検品の可能性を検証する。																																																												
取組内容 結果	長時間の録音データから鳥の鳴き声を自動検出し、解析時間を大幅に短縮するAIシステムの実証に取り組んだ。激しい環境音や小さな鳴き声の検出には課題を残したものの、追加学習等で検出漏れを減らすなど一定の成果を収めた。実用化に向けたさらなる精度改善と、自然環境調査の画期的な効率化への貢献が期待される。 2. アプローチ 鳴き声の検出 FFT変換 ①音声データ(WAV)入力 ②メルスペクトログラムに変換 ③AIモデルによる推論 ④各種が鳴いている信頼度を算出 結果の比較 <table><tr><td>時刻</td><td>種別</td><td>検出</td></tr><tr><td>22:50 (ジュライ)</td><td>ジュライ</td><td>検出</td></tr><tr><td>22:50 (ジュライ)</td><td>ジュライ</td><td>検出</td></tr><tr><td>22:51 (ジュライ)</td><td>ジュライ</td><td>検出</td></tr><tr><td>22:52 (ジュライ)</td><td>ジュライ</td><td>検出</td></tr><tr><td>22:53 (ジュライ)</td><td>ジュライ</td><td>検出</td></tr><tr><td>22:54 (ジュライ)</td><td>ジュライ</td><td>検出</td></tr><tr><td>22:55 (ジュライ)</td><td>ジュライ</td><td>検出</td></tr><tr><td>22:56 (ジュライ)</td><td>ジュライ</td><td>検出</td></tr><tr><td>22:57 (ジュライ)</td><td>ジュライ</td><td>検出</td></tr><tr><td>22:58 (ジュライ)</td><td>ジュライ</td><td>検出</td></tr></table> 対象種を決めて1分ごとの検出有無を抽出 あらかじめ専門家が聞き取った結果（左列）と各時刻の検出結果（右列）を比較 -> 同じ時刻に、同じ種を検出できていれば精度が高いとする 03. 取組内容 ラングドシャ - コンベア上の検出と判定 学習画像 物体検出と焼き判定 検証結果 <table><tr><th>モデル</th><th>訓練画像</th><th>検証画像</th><th>mAP</th><th>AP50</th><th>AP75</th><th>AP95</th></tr><tr><td>せんべい</td><td>24</td><td>7</td><td>97.8%</td><td>100%</td><td>100%</td><td>0.6%</td></tr><tr><td>ラングドシャ</td><td>16</td><td>5</td><td>87.4%</td><td>100%</td><td>100%</td><td>35.1%</td></tr><tr><td>ラングドシャ+せんべい</td><td>164</td><td>44</td><td>94.0%</td><td>100%</td><td>100%</td><td>81.4%</td></tr></table> mAP：Mean Average Precision（0.50～0.95の10段階のAPの平均） mAP 90% 以上の性能達成し、実動画で使用可能なモデルを作成できた	時刻	種別	検出	22:50 (ジュライ)	ジュライ	検出	22:50 (ジュライ)	ジュライ	検出	22:51 (ジュライ)	ジュライ	検出	22:52 (ジュライ)	ジュライ	検出	22:53 (ジュライ)	ジュライ	検出	22:54 (ジュライ)	ジュライ	検出	22:55 (ジュライ)	ジュライ	検出	22:56 (ジュライ)	ジュライ	検出	22:57 (ジュライ)	ジュライ	検出	22:58 (ジュライ)	ジュライ	検出	モデル	訓練画像	検証画像	mAP	AP50	AP75	AP95	せんべい	24	7	97.8%	100%	100%	0.6%	ラングドシャ	16	5	87.4%	100%	100%	35.1%	ラングドシャ+せんべい	164	44	94.0%	100%	100%	81.4%
時刻	種別	検出																																																												
22:50 (ジュライ)	ジュライ	検出																																																												
22:50 (ジュライ)	ジュライ	検出																																																												
22:51 (ジュライ)	ジュライ	検出																																																												
22:52 (ジュライ)	ジュライ	検出																																																												
22:53 (ジュライ)	ジュライ	検出																																																												
22:54 (ジュライ)	ジュライ	検出																																																												
22:55 (ジュライ)	ジュライ	検出																																																												
22:56 (ジュライ)	ジュライ	検出																																																												
22:57 (ジュライ)	ジュライ	検出																																																												
22:58 (ジュライ)	ジュライ	検出																																																												
モデル	訓練画像	検証画像	mAP	AP50	AP75	AP95																																																								
せんべい	24	7	97.8%	100%	100%	0.6%																																																								
ラングドシャ	16	5	87.4%	100%	100%	35.1%																																																								
ラングドシャ+せんべい	164	44	94.0%	100%	100%	81.4%																																																								

②DX推進部会

(1)さっぽろDXイノベーションセミナー

市内中小企業のDX推進を目的として、今年度の施策やDX事例等を紹介するセミナーを3回開催。延べ192名が参加した。

	名称	日時	会場	登壇者/登壇企業	参加者
1	札幌発、人×デジタルが描くビジネスの未来	6月5日(木) 13:30~16:00	北海道経済センター8階 Aホール	・DX 推進部会 部会長 平本 健太 氏 ・札幌国税局 総務部 企画課 課長補佐 中瀬 義晴 氏	107名
2	DX 支援制度を使って会社を強くする!挑戦は未来のために	9月19日(金) 14:00~16:30	赤れんが庁舎 2 階 赤れんがホール B	・DX 推進部会 部会長 平本 健太 氏 ・株式会社スポーツショップ古内 代表取締役社長 古内 克弥 氏 ・フ有有限会社北海道新聞永田販売所 代表取締役 伴野 卓磨 氏	41名
3	導入費ゼロから始めるゲームチェンジ―“知・考・活”を支えるパートナーとは	1月28日(水) 14:00~16:00	赤れんが庁舎 2 階 赤れんがホール B	・DX 推進部会 部会長 平本 健太 氏 ・アイビック食品株式会社 専務取締役 木村 知子 氏 ・ストアプロジェクト株式会社 取締役 野口 千明 氏 ・株式会社フォーバル DXアドバイザー 来住 勇太 氏	44名

(2)事例調査、IT企業×他産業分野との交流機会創出

ITの利活用を検討している中小企業と市内IT企業のマッチングを進めるため、特定の産業分野に属する中小企業のDXに対する要望や課題を調査した上で、その産業分野の要望・課題について適切な提案ができる市内IT企業との交流会を開催した。

■DX先進事例調査(広島県・神戸市) 8月28日(木)～29日(金)

【調査概要】

1. 広島県庁(ひろしま DX 加速プラン・DX 実践道場・DX 簡易診断ツール・ビジネス変革を推進できる中核的人材の育成・デジタルツール研修など)
2. 公益財団法人ひろしま産業振興機構(カイゼン DX 導入実証(助成金)など)
3. 神戸市(神戸市中小企業 DX お助け隊・補助制度など)
4. 神戸商工会議所(ビジネスマッチング・デジタル活用支援サービスのテスト利用・実証事業など)

■他産業企業とのビジネスマッチング

【開催回数】全5回

【参加企業(IT企業)】延べ23社

【参加企業(他産業)】延べ25社

(3)DX人材育成ワークショップ

DX化の促進に向け、市内中小企業や業界団体へのヒアリング調査や意見交換会を実施するとともに、市内中小企業における経営層に対するDX・デジタル化・IT導入についての理解促進や、中小企業におけるDX推進役となりうる人材育成の支援やIT活用スキル及びリテラシーの向上を図るためのセミナーやワークショップを開催。

名称	期間	会場	参加者
1セット目(全3回)	9月～10月	赤レンガ庁舎道民ベース B	延べ43名
2セット目(全3回)	10月～11月	赤レンガ庁舎道民ベース B	延べ11名

(4)DXアドバイザー派遣

DXを進める第一歩を踏み出したい市内中小企業を対象として、DXアドバイザーの資格を持つ専門家を派遣して、企業の課題把握～計画策定～ITツール導入～効果測定までをサポートする伴走支援を実施。支援企業の内、特に成果が出たものについて、成果事例集を作成。

【実施期間】6月～2月(約9か月)

【支援企業】25社

資格を保有した専任DXアドバイザーによる定期訪問と伴走支援



(5) 中小企業DX推進補助金

さっぽろ連携中枢都市圏に本社を置く中小企業が、自社の経営課題の解決や、競争力向上を目的として行う、デジタル技術を活用した取組の費用の一部を支援。

※交付総額: 14,759,227円

	採択企業名	採択区分	採択案件
1	ミライチ株式会社	DX枠	北海道農業と全国就農希望者を繋ぐ求人受付からマッチングまで一元管理する求人ポータルサイト構築事業
2	株式会社HITOSORA	DX枠	DXによる教育から帰国後までの外国介護人材キャリア支援事業
3	株式会社感動いちば	デジタルイノベーション枠	~「北海道を元気に!」20年目の再挑戦~LINE/API連携によるサブスクDX構築事業
4	モリタ株式会社	デジタルイノベーション枠	箔押しの不良判定AIシステムによる検品工程の省人化・不良ロス改善
5	株式会社丸加水産	デジタルイノベーション枠	受注データ・工場発注システムの開発・導入事業
6	株式会社マイ・케어	デジタルイノベーション枠	業界標準の医療スコーマ器具販売管理・スコーマ給付券管理システム構築事業
7	札幌制御システム株式会社	デジタルイノベーション枠	先読み営業を支える統合・AI分析事業

③先端技術普及促進部会

(1)宇宙×半導体イベント

宇宙・半導体事業における市内IT産業の可能性を探ることを目的としたイベント(セミナー、勉強会、ワークショップ)を全7回開催。延べ228名が参加した。

	日時	会場	登壇者/登壇企業	参加者
1	4月18日(月) 15:00~18:00	Sapporo Business HUB	・HIREC株式会社 代表取締役社長 上森 規光 氏 ・ハッピーファム合同会社 代表 五嶋 耀祥 氏 ・SOC株式会社 代表取締役社長 朝倉 由紀子 氏	45名
2	5月29日(火) 15:00~18:00	SOC株式会社 新さっぽろ LABO	・株式会社三菱UFJ銀行 サステナブルビジネス部 宇宙イノベーション室 稲葉 祐太 氏 ・北海道経済産業局 参事官 丹羽 朋子 氏 ・HIREC株式会社 代表取締役社長 上森 規光 氏	53名
3	6月27日(金) 14:30~18:00	Sapporo Business HUB	・札幌市 副市長 加藤 修 氏 ・HIREC株式会社 代表取締役社長 上森 規光 氏 ・ハッピーファム合同会社 代表 五嶋 耀祥 氏 ・北海道大学 宇宙ミッションセンター長 高橋 幸弘 氏 ・NEC スペーステクノロジー株式会社 代表取締役社長 片桐 秀樹 氏 ・株式会社Space Cubics 取締役 森島 史仁 氏 ・福井県産業労働部産業技術課主事 松原 達宏 氏	43名
4	9月12日(金) 15:00~18:00	SOC株式会社 新さっぽろ LABO	・HIREC株式会社 代表取締役社長 上森 規光 氏 ・株式会社Space Cubics 取締役 森島 史仁 氏 ・ハッピーファム合同会社 代表 五嶋 耀祥 氏 ・SOC株式会社 執行役員統括部長 遠藤 正憲 氏	14名

③先端技術普及促進部会

(1)宇宙×半導体イベント

宇宙・半導体事業における市内IT産業の可能性を探ることを目的としたイベント(セミナー、勉強会、ワークショップ)を全7回開催。延べ228名が参加した。

	日時	会場	登壇者/登壇企業	参加者
5	10月7日(火) 15:00~17:00	Sapporo Business HUB	・HIREC株式会社 代表取締役社長 上森 規光 氏 ・Space Cubics株式会社 取締役 森島 史仁 氏 ・ハッピーファム合同会社 代表 五嶋 耀祥 氏 ・SOC株式会社 執行役員統括部長 遠藤 正憲 氏	17名
6	11月17日(月) 14:00~16:00	SOC株式会社 新さっぽろ LABO	・HIREC株式会社 代表取締役社長 上森 規光 氏 ・Space Cubics株式会社 取締役 森島 史仁 氏 ・ハッピーファム合同会社 代表 五嶋 耀祥 氏 ・SOC株式会社 代表取締役社長 朝倉 由紀子 氏 ・SOC株式会社 執行役員統括部長 遠藤 正憲 氏 ・宇宙飛行士 若田 光一 氏	35名
7	3月18日(水) 15:00~18:00	Sapporo Business HUB	・HIREC株式会社 代表取締役社長 上森 規光 氏 ・株式会社 Space Cubics 取締役 森島 史仁氏 ・ハッピーファム合同会社 代表 五嶋 耀祥 氏 ・SOC株式会社 執行役員統括部長 遠藤 正憲 氏 ・Blue Planet Sensing株式会社 専務取締役 小林 伸行 氏 ・株式会社クロスアーキテクト代表取締役/ JMP プロデューサー 長谷川 浩和 氏 ・NPO法人北海道宇宙科学技術創成センター(HASTIC)事務局長 佐藤秀典 氏 ・STARTUP HOKKAIDO実行委員会 宇宙領域マネージャー 高橋健太 氏	21名

(2) Multi-tech Exhibition

昨年度まで開催してきた「xR Exhibition 2025」から名称およびコンセプトを刷新し、XRに限らず、AI やハードウェアなど複数の技術分野(Multi-Tech)が交差する場を創出することを目的として開催。135名が参加した。

【日 時】1月23日(金)13:00～18:30

【会 場】Deep-Tech CORE SAPPORO

	参加団体
1	株式会社インフィニットループ
2	Auto VR 株式会社
3	合同会社 Studio Cocoon
4	株式会社スパイス
5	株式会社ダブルエムエンタテインメント
6	株式会社 Newin Japan
7	株式会社 ProVision
8	株式会社メディア・マジック
9	株式会社ビーライズ
10	株式会社レッドクリフ
11	DTC株式会社
12	一般財団法人デジタルコンテンツ協会
13	VketReal in 札幌実行委員会
14	Process Note(学生チーム)
15	Deep Tech CORE XR Ideathon2025 入賞チーム



④市内IT企業PR・販路拡大支援・その他広報

(1) Sapporo mirAI nITe

市内IT企業が持つAI等の優れた先端技術やソリューション、ユニークなビジネスアイデアやその取組等を紹介するイベントを開催した。

	開催テーマ/場所	登壇者
1	<u>札幌AI道場 開設式</u> ・開催日: 7月7日(月) ・参加者: 115名 ・場所: 札幌市民交流プラザ(SCARTSスタジオ1・2)	AI推進部会 ラボ長 川村 秀憲 氏 AI推進部会 事務局長 中村 拓哉 氏
2	<u>札幌市における IT 産業支援の取り組みについて ~札幌 AI 道場から大札新まで~</u> ・開催日: 10月23日(木) ・参加者: 76名 ・場所: 幕張メッセ(Japan DX Week秋 出展社カンファレンス)	AI推進部会 事務局長 中村 拓哉 氏 株式会社PTS 代表取締役社長 佐々木 浩一 氏 札幌市 経済観光局 経済戦略推進部 企業立地担当課長 木村 朋路 氏
3	<u>札幌AI道場成果発表会</u> ・開催日: 3月3日(火) ・参加者: 224名程度 ・場所: 札幌市民交流プラザ(クリエイティブスタジオ)	札幌市 副市長 加藤 修 氏 AI推進部会 ラボ長 川村 秀憲 氏 AI推進部会 事務局長 中村 拓哉 氏 日本ディープラーニング協会 理事 岡田 隆太郎 氏 EmotionX株式会社 COO 大村 寛子 氏

④市内IT企業PR・販路拡大支援・その他広報

(2)海外マーケティング調査の実施

海外へのビジネス販路獲得を目指す市内IT企業に対して、海外へのビジネス拡大を目指す上で必要となる情報や、現地の関係機関とのコネクションを提供した。

訪問国	インドネシア
期 間	11月11日(火)～11月14日(金)
参加者	14名(事務局、市内IT企業等)
訪問先	JETRO現地事務所、現地大学、現地IT企業、現地財閥系企業など
総 括	今回のミッションでは、多種多様な現地企業を訪問し、札幌の4社が各社のニーズやサービスを直接理解することに成功。公共交通DXやスマートシティ分野、オフショア開発・人材派遣サービス等の点において、現地企業との協業可能性を確認することができた。 また、現地で開催したネットワーキングイベント「Sapporo Night」では、多数の現地スタートアップや投資家と直接交流し、新たなビジネス機会と人脈を獲得できた。参加者の満足度は高く、フォローアップを希望する声が多数寄せられた。



④市内IT企業PR・販路拡大支援・その他広報

(3) 首都圏展示会への共同出展

10月22日(水)～24日(金)の期間で開催された「Japan DX Week 秋」にて、札幌市商工会議所と共同で「札幌市ブース」を出展し、公募により選定した市内IT企業12社に出展機会を提供した。

出展企業

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| (1) 株式会社アンタス | (7) FPTニアショアジアパシフィック株式会社 |
| (2) 株式会社インターパーク | (8) システムデザイン開発株式会社 |
| (3) 株式会社調和技研 | (9) 株式会社ディーディーエル |
| (4) 株式会社デジック | (10) 株式会社リッジワークス |
| (5) 株式会社バーナードソフト | (11) 株式会社ログオンシステム |
| (6) 株式会社ジャパンテクニカルソフトウェア | (12) 株式会社ロケットスタジオ |

出展成果

- * 接点創出(名刺獲得)件数:1,445件
- * 商談成約件数:22件
- * 成約金額:66,660,000円以上



④市内IT企業PR・販路拡大支援・その他広報

(4) 札幌市イノベーション推進コンソーシアム活動PR

○10月14日(火)～17日(金)幕張メッセで開催された「CEATEC」にて、「札幌市イノベーション推進コンソーシアムブース」を出展。AI推進部会を中心とした各種取組について来場者へのPRを行った。



(出展ブースの様子)



(出展ブースに併設されたプレゼン会場。各日1回、当コンソーシアムの活動について発表した)

④市内IT企業PR・販路拡大支援・その他広報

(5)展示会出展支援補助金

AIやXR等の先端技術を活用した製品や技術を持つ市内中小IT企業に対し、展示会出展に掛かる費用を補助した。

※交付総額:1,522,270円

採択企業名	出展展示会名【開催場所】	出展する製品
株式会社インフィニットループ	XR kaigi 2025 【東京ポートシティ竹芝】	Desktop Mate、AutoVR
株式会社キシブル	Factory Innovation Week2026 東京 展:製造業 人手不足対策 EXPO【東京ビッグサイト】	VR 教育コミュニケーションツール「iVRES」
株式会社テクノフェイス	ものづくりワールド【大阪】 【インテックス大阪】	AI ソリューション(画像解析、データ分析、自然言語処理)
株式会社バーナードソフト	TECHNO-FRONTIER 2025 第18回 工場の見える化展 【東京ビッグサイト】	AI による嵌合音判定システム「エスカレイドボウル」

④市内IT企業PR・販路拡大支援・その他広報

(6) デジタル・イノベーション創出補助金

市内IT事業者が開発または提供する、AIやXR・メタバース、Web3.0など市場の成長が期待されるデジタル技術を活用した製品・サービス・ソリューションに必要な費用を補助するとともに、プロジェクトサポーターによるビジネス化に向けた支援を行った。

【採択枠について】

○デジタル・イノベーション枠：

先端技術を活用した製品・サービス・ソリューション開発を対象として支援

○ビジネスデザイン枠：

先端技術を活用した新製品の開発に向けた市場調査や、ビジネス設計、概念実証(PoC)を対象として支援
※交付総額：27,221,500円

	採択企業名	採択枠	採択案件
1	株式会社メディア・マジック	デジタル・イノベーション枠	VR技術を活用したバス乗務員向け教育コンテンツ提供基盤の開発
2	株式会社調和技研	デジタル・イノベーション枠	視聴体験を変えるAIスキージャンプ解析・映像演出技術の開発
3	株式会社ジャパンテクニカルソフトウェア	デジタル・イノベーション枠	図面読取AIによる見積自動化ソリューション
4	株式会社オルタナティブ	デジタル・イノベーション枠	新聞販売店AIコンタクトセンターSaaS 全国展開事業
5	株式会社サンクレエ	ビジネスデザイン枠	認知機能評価を行うためのアプリの市場展開の可能性
6	株式会社InnovationBASE 北海道	ビジネスデザイン枠	AI:Promo~あなたのお店・会社の専属 AI による次世代プロモーション代行